## 社說

# 日土交際

土耳其帝國と交際を開く可しとは我輩の曾て記したる所にして昨今聞く所に據れば當局者も同樣の意見を抱き既に其事に着手したりと云ふ日本は未だ世界外交の舞臺に上る能はずアルメニヤ事件が破裂するもクリート問題が起るも只傍觀するのみにして其間に喙を容るゝ能はざるは國勢の未だ發達せざるが爲めにして此類の問題に論言權を得るまでには尙は幾多の歲月を要す可しと雖も戰爭の結果として我も亦一强國として計へられ貿易も次第に發達して歐米の航海をも開始したるはせなれば外交に於ても獨り東洋に孤立す可らず特に外交問題は相關聯するの常にして土耳其問題が急なれば支那問題は自から緩なる可し今日クリート事件が大破裂に至らずして止む可しと云ふは東亞に關係の强國が此方面の經營に忙はしきが爲めにして一方の多事は他の一方の平和を意味するなり左れば日本が極東の問題を始末するにも歐洲の外交に仲間入するみと頗る肝要にして其仲間に入るには先づ土耳其に向て交際を開かざる可らず蓋し貿易上に於ては之が爲めに利する所大ならざる可し腐敗を以て有名なる國にして住民の數は少なからずと雖も產業甚だ振はざればなり其貿易表を見るに輸入は一億圓餘にして輸出は一億三千餘萬圓に過ぎず內、日本より西洋人の手を經て輸入するもの僅に卅萬圓なれども聞く所に據れば土人は大に日本品を珍重するよしなれば直接に貿易を初めなば輸出も追々增加す可きのみならず日本人の目を以て觀察すれば土耳其の產物中我に輸入す可きものも少なからざるみとならん假令ひ一步を讓りて商賣上に於ては格別の益なしとするも政治上に於ては此國ほど面白き所はある可らず歐洲治亂の機は常に此帝國の內に起伏してすり時も靜止するみとなし一波瀾收まれば更に第二の紛議を生じ外交家をして安眠を得せしめず其政略の方針は或は倫敦に於て決せられ或はピータースボルクに於て定めらる可しと雖も其之を實地に演するは即ちコンスタンチノープルにして土都は恰も外交術の展覽會と云ふも可なり若しも日本にして其仲間に入り共に舞ひ俱に躍らば興味甚だ深かる可し或は愼に其仲間に入るみと能はずとせんか傍より他の芝居を見物するのみにても得る所少なからざる可し一の公使を派遣するは造作もなきみとにして爲めに少々にても外交上利する所あれば甚だ幸なり只條約を締結するに當り我は固より歐米の諸强國と同等の地位に立たざる可らず支那に於ては既に最惠國の待遇を受くるみとゝ爲りし次第なれば土耳其に於ても亦然らざるを得ず是れは勿論の事として速に一新締盟國を增さんみと我輩の切に望む所なり

福澤百話の誤植 去月二十八日掲載福澤百話の三行目「有形の數理を收る」とある收るは攻るの誤植

## ○金貨本位談（廿四）

門野幾之進氏

現今世界の趨勢は複本位同盟の成立に向ひつゝあるは疑ふべからず其實行の障碍たるもの單に英國の反對あるのみ本來英人の性癖として一旦腦中に浸み込みたる所にして昨今聞く所に據れば當局者も同樣の意見を抱き既に其事に着手したりと云ふ日本は未だ世界外交の舞臺に上る能はずアルメニヤ事件が破裂するもクリート問題が起るも只傍觀するのみにして其間に喙を容るゝ能はざるは國勢の未だ發達せざるが爲めにして此類の問題に論言權を得るまでには尙は幾多の歲月を要す可しと雖も戰爭の結果として我も亦一强國として計へられ貿易も次第に發達して歐米の航海をも開始したるはせなれば外交に於ても獨り東洋に孤立す可らず特に外交問題は相關聯するの常にして土耳其問題が急なれば支那問題は自から緩なる可し今日クリート事件が大破裂に至らずして止む可しと云ふは東亞に關係の强國が此方面の經營に忙はしきが爲めにして一方の多事は他の一方の平和を意味するなり左れば日本が極東の問題を始末するにも歐洲の外交に仲間入するみと頗る肝要にして其仲間に入るには先づ土耳其に向て交際を開かざる可らず蓋し貿易上に於ては之が爲めに利する所大ならざる可し腐敗を以て有名なる國にして住民の數は少なからずと雖も產業甚だ振はざればなり其貿易表を見るに輸入は一億圓餘にして輸出は一億三千餘萬圓に過ぎず內、日本より西洋人の手を經て輸入するもの僅に卅萬圓なれども聞く所に據れば土人は大に日本品を珍重するよしなれば直接に貿易を初めなば輸出も追々增加す可きのみならず日本人の目を以て觀察すれば土耳其の產物中我に輸入す可きものも少なからざるみとならん假令ひ一步を讓りて商賣上に於ては格別の益なしとするも政治上に於ては此國ほど面白き所はある可らず歐洲治亂の機は常に此帝國の內に起伏してすり時も靜止するみとなし一波瀾收まれば更に第二の紛議を生じ外交家をして安眠を得せしめず其政略の方針は或は倫敦に於て決せられ或はピータースボルクに於て定めらる可しと雖も其之を實地に演するは即ちコンスタンチノープルにして土都は恰も外交術の展覽會と云ふも可なり若しも日本にして其仲間に入り共に舞ひ俱に躍らば興味甚だ深かる可し或は愼に其仲間に入るみと能はずとせんか傍より他の芝居を見物するのみにても得る所少なからざる可し一の公使を派遣するは造作もなきみとにして爲めに少々にても外交上利する所あれば甚だ幸なり只條約を締結するに當り我は固より歐米の諸强國と同等の地位に立たざる可らず支那に於ては既に最惠國の待遇を受くるみとゝ爲りし次第なれば土耳其に於ても亦然らざるを得ず是れは勿論の事として速に一新締盟國を增さんみと我輩の切に望む所なり

疑ふべからず其實行の障碍たるもの單に英國の反對あるのみ本來英人の性癖として一旦腦中に浸み込みたる考へは容易に之を改めざるのみならず又世界の債主として通貨の騰貴は其資本家の爲め利益たるに相違なきを以て今日猶ほ金貨本位の制を固執して動かざれども通貨の騰貴は資本家の一時の利益にはそなれ之が爲めに物價の下落を來し事業の要鍵を招くに至ては決して一國全體の利益に非ず左れば複本位說は既に同國の學者間に行はるゝのみならず資本家外の種族中には益々其聲を高め來れり蓋資本家の力大なりと雖も亦決して無限なるものに非ず況んや複本位の要鍵は資本家永遠の利益に非ざるをや其國論の早晚複本位に決定すべきは明白なり而して英國の一諾は即ち世界複本位同盟の成立する時機にして其時機の來る決して遠きに非ざるべし

金銀孰れか其價に於て最も不動なりしやは實に困難なる疑問なり其近來に於る變動は主として世俗が金を貴重するの感情と消費者及び資本家即ち社會の勢力者が通貨の下落を厭ふ利心より銀を排斥するに至りたるが爲め金をして益々騰貴せしめ銀をして益々下落せしめたるみとならん最近二十年の間に於る其產額に就ては或は生產費の點にて金の價を二倍し銀の價を半減すべき程の差異ありたるに非ず最大原因は貨幣としての需要を銀より金に移したるが爲めにして又銀の價を今日の格に支持するものは其貨幣外の需要（價の下落に從て增加す）と貧銀の產業と東洋諸國なり歐洲金貨國の物價下落したるは其幾分は科學、技術の進步に由て其生產費を減じたるにも因らん然れども金貨の騰貴は其主たる原因ならざるを得ず何となれば金貨本位は金の需要を增さゞるを得ず從て其價を騰貴せしめざるを得ざればなり唯他の貨物に對しては銀に對するが如くならざるものは銀は金の需要を增すと同時に其需要を減じたれども他の貨物の需要は故て以前に異なるみとなければ他物に對する金の價格は其變動の原因一方に存するのみ又銀國たる日本に於る物價の騰貴も其幾分は富の進步と共に需要を增したるにも因らん通貨の下落が輸出を奬勵したるにも因らん然れども銀の下落は其主なる原因ならざるを得ず何となれば銀貨の排斥は其需要を減じたれば唯其價格の變動、金に對する程に他物に對して其變動からざるのみ

物價の標準としては金必ずしも不動なるに非ず銀必ずしも不定なるに非ず近來の金騰銀落は共に人爲に因でたるものにして其物自身の性質に非ざるは既に述べたるが如し然れども金貨論者の最も喜ぶる所は現今世界の貨幣の性質如何に非ずして唯多數金貨國に對する爲換の變動常なきに在るべし實に金國と銀國との間には爲換の平準なし之が爲めに貿易をして常に冒險事業たらしめ從て其發達を抑制すべきは論を俟たずと雖も一方の東洋銀貨國に對する貿易は却て今日みを爲換の平準を得たるものなれ又貿易の高より云へば金國に對するもの多く銀國に對するもの未だ少なしと雖も將來我邦を東洋の製造國たらしむるの國策より見れば其趨重は單に現今の比較にのみ據るべからず況んや今日の有餘にては全國に對し爲換の變動に伴なふ危險の不利益を

蒙るものは僅少なる直輸出業者と船舶機械等を注文するものゝ外は重に外國商人なるをや

或金論者は近來我邦製造の發達を以て銀貨の下落に由るみとを承認して云く今や銀の下落は既に極點に達したるものなれば速かに幣制を改革し置かざれば今後銀貨騰貴の時節到來するに及んで物價益々下落して恰も金國今日の運命に陷り折角勃興したる製造も亦終に消滅に歸せんと固より我輩も銀貨の下落を歡迎なきものとは思はず最早其極點に近きものと想像すれども論者は今後銀の騰貴を何の原因に由て生ずべしと爲すか今後俄に其供給を減ずべき證據ありと爲すか決して之れあらざるべし然らば貨幣としての銀の需要を增加するは複本位制の將に成立せんとする時ならざるを得ず故に論者は心中竊に複本位の成立近きに在るを信ずるものと謂はざるを得ず果して然らば其時に至て我幣制を改革して可なり何を苦んで今日之を行ひ他日複本位同盟成るに及んで再び狼狽せんとするや

外資輸入の爲めに幣制改革の要を唱ふるものゝあり數年前銀座通りに外人の資本を以て商賣するものゝありとか外人が礦山を買ひたりとか頻りにヒステリ的疑懷を抱きたるものが今日に至り此說を爲すに至ては世論の進步に滿足の外なし而して幣制の改革が外資の流入に便なるは固より然り然れども我輩は世人の期するが如く大なる結果あらざるべしと思ふ蓋し公債募集の手段は容易なるべしと雖も單に其爲めに幣制を改むるを要せざるは他の銀論者の言の如し其他の民間事業に對しては低利資金の流入を期するは間違ひの大甚だしきものなるべし凡そ近きを信じ遠きを疑ふは普通の人情にして英人が自國法律の下にある印度、香港にてさへ自國に於て滿足する如き低利を以て放資するものなきに彼等の心には最も慎まざるべからざる國民が最も信ずべからざる法律の下にて取扱ふ事業に向て大に放資すべしとは信ずべからず日本の富家にして朝鮮人の事業に放資するものはあらざるべし況んや英と日と土地の遠近、民情の差異日と韓との比にあらざるをや

幣制を改革するに就ては支那の償金を以て準備金に充て得るが故に今日みを實に好時機なりと云ふものあり是れ解すべからざる說なり準備金とすれば無論庫中に貯へ置くみとなれば今日よりして他日改革を要する其時まで備へ置きて可なり或は一時公債を償却し或は買收して民間の事業に要する資本を增加し他日外債に由て一二億の準備金を得るは何の難きみとか之あらん要するに今日は幣制改革の時機に非ざるなり

## ○京城特報

二月二十一日發 特派員 佐藤彬

### 還御の詔勅

下るに至りたる其眞相を聞くに商民數百名は發機に接するや時を期して入城せんとし各地の騷生も亦接踵、繁擾の事に來らんとするの勢あり若し廟堂有司にして還御問題を等閑に付せんとする者あらば各派の不平家五十名七十名づゝ隊を成して其不忠を詰責せんとするやの報さへありしかば有司の驚駭、一方ならず終に十七日三元老各大臣の國政府會議となり十八日各大臣の內部會議となりたるなりと是より先き閔泳駿氏は大君陛下に謁見して此機會を捉め還御の實に止む可からざるみとを上奏したれば閔氏は一身の安固も期し難し其意に從はせらるゝも急き御前を退き閔氏に此旨を傳へ兩氏に此旨を傳へ介して公使に面會し日實として之を拒の敢策に出でたるなり大君主陛下還御の詔を降し玉ひたり斯くて各大臣は詔勅を奉ずるの時時に各國の決心を以て御前に接續を爲し二十一日大君主陛下は昨日其場に決議せりと宮各殿堂の檢分、議政府に詣切議、議政府に詣切世、鄭範朝の三元老

### 還御の

大君主陛下は昨日官を率ゐ露館の正門より即祚堂に入られ（空輦）、空轎二、亞（空輦）、白輦（空輦）、別監、（二十餘名）四大轎、大君月刀、青寶旗、五方月刀（二本）五方（空輦）、白輦（空輦）、別監、（二十餘名）四大轎、大君月刀（二本）五方（空輦）、白輦（空輦）、別監、（二十餘名）四大轎、大君月刀、青寶旗、